



No.423

平成31年3月22日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

教委だより

特集 Stop! ザ・ネットトラブル (p2)



石井知事、油井宇宙飛行士との記念撮影



石井知事あいさつの様子



会場での記念撮影



質問に答える油井宇宙飛行士



賞状を授与する渋谷教育長

富山県教育フォーラム ～科学する心を育む教育の推進～

「富山県教育フォーラム」が12月15日（土）に富山国際会議場で開催されました。石井知事のあいさつの後、「とやま科学オリンピック2018」の授賞式が行われました。金賞、銀賞、銅賞、特別賞の受賞者340名一人一人に石井知事、渋谷教育長、坪池・布野両教育次長から賞状と副賞が授与されました。

授賞式に続いてJAXA宇宙飛行士の油井亀美也氏による『「宇宙へのあこがれ」—追いつけた宇宙で感じたこと—』と題した講演がありました。ISS（国際宇宙ステーション）での長期滞在中の映像等を見ながらのとてもわかりやすく興味深い内容の講演でした。講演の後半には、小中高生から質問が相次ぎ、子どもたちの宇宙に対するあこがれや関心の高さを感じました。

Contents (主な内容)

- 特集 Stop! ザ・ネットトラブル ……2p
- とやま学校多忙化解消推進会議 ……2p
- 「ふるさととやまの自然」
・科学ポイントラリー」認定証交付 ……2p
- 知事の学校視察 ……3p
- 平成30年度 とやま高校生ものづくりマイスター認定式 ……3p
- 探究科学科三校合同課題研究発表会 ……3p
- 平成31年度 富山県教育委員会重点施策の体系 ……4～5p
- 「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」
作文コンクール表彰式 ……6p
- 教師力向上支援事業 —報告会— ……6p
- 第36回富山県高等学校生徒海外派遣団結団壮行式 ……6p
- 特別展「旧石器時代とはどのような時代だったのか!」 ……6p
- 健康教育実践優良学校の取組 ……7p
- 学校給食優良学校等の取組 ……7p
- 平成30年度全国体力・運動能力、
運動習慣等調査の結果について ……8p
- 「富山マラソン2019」について ……8p
- 公民館親子で高志の国探検事業 ……9p
- 平成30年度 高校生とやま県議会 ……9p
- インフォメーション ……9p
- 総合教育センターNOW ……10～11p
- 学校レポート「人権教育の推進
—温かい人間関係を築こうとする生徒の育成—」
上市町立上市中学校 ……12p
- リレーエッセイ「人財」を活かして「人財」に
富山県中学校体育連盟会長 富山市立堀川中学校長
齊藤 保志 ……12p

特集

Stop! ザ・ネットトラブル

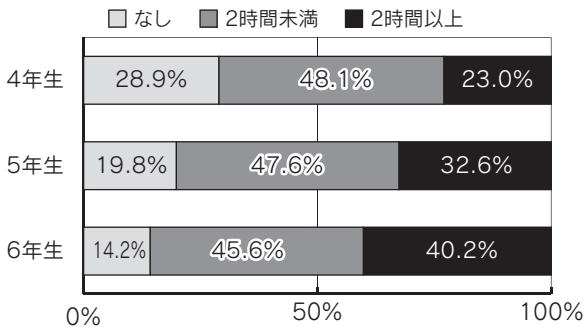
~その9~

とやまっ子のネット事情

今年度、県内の小学4～6年(13,092人)が回答したアンケート調査結果から、とやまっ子のネット事情に迫ります。

「とやまの子どもネット利用と生活についてのアンケート」
問：1日（平日）に何時間インターネットに接続しますか。
（ゲーム機、家族の機器での接続含む）

インターネット利用時間の割合



- 児童（4～6年生）の携帯電話等の所持率は43.9%
- 左のグラフは、1日にインターネットを利用する時間を学年別に示したもので、2時間以上利用している割合は、4年生23.0%、5年生32.6%、6年生40.2%
- 一般的に、インターネット依存傾向にある児童生徒には、日常生活において、①起床時間や就寝時間が遅くなる、②生活の中でよくいらいらする、③家族と学校での出来事を話すことが少なくなるなどの影響がみられるといわれています。

（対策のポイント）

幼い頃からの習慣を成長してから変えるのは難しいものです。ネット利用の長時間化は学習にも影響を与えます。児童や保護者に、小学生のうちからネット利用のルールを決めることや、フィルタリングを設定してネット接続機器の利用時間を制限することなど、適切なネット利用の環境を考えてもらう啓発が必要です。

春休みに向けて増える投稿

卒業祝いだー!



合格したよ!



例年この時期になると、インターネット上に左記のような投稿をよく見かけます。

子ども達は、大切な思い出として残したい、みんなに祝ってほしいといった気持ちや開放感から投稿しているのだと思います。しかし、氏名と一緒に進学先の学校名などの個人情報に記載することなどは、トラブルの要因になりますので、今一度、児童生徒に注意するようお願いします。

とやま学校多忙化解消推進会議

2月5日（火）に第3回とやま学校多忙化解消推進会議が開催されました。会議では、昨年までの「とやま学校多忙化解消の推進方針」から構成を大きく変更した案が提出され、関係各室課からの説明の後、各委員より意見が述べられました。

委員からは、各学校の多忙化解消への取り組みの現状などが紹介されたほか、方針案の構成の変更により、内容が整理され分かりやすくなったという意見も述べられました。また、方針案の内容について、多忙化解消に向けての問題点を踏まえた具体的な指摘もあり、それらを元に意見交換を行いました。

今回協議された方針は、会議での意見に基づいた修正を加えた後、次年度発行の「とやま学校多忙化解消の推進方針2019」で紹介する予定にしています。



第3回とやま学校多忙化解消推進会議の様子

「ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー」認定証交付

富山の自然等を通して探究する態度や科学する心を育てるために、副読本「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」に掲載されている自然や施設の見学、観察・実験を行うポイントラリーを昨年度から実施しています。1回の実践（見学、観察、実験等）を1ポイントとし、今年度、積極的に取り組み、20ポイントに達した5年生20名、6年生52名、計72名に認定証を交付します。先生方には、子供たちの自然や科学に対する興味・関心の高揚にご協力いただき、ありがとうございました。

来年度もポイントラリーを行う予定としており、子供たちの意欲的な取組に期待しています。なお、今年度の5年生のみなさんが獲得したポイントは来年度も有効です。

知事の学校視察

—12月5日 魚津高校・住吉小学校へ—



12月5日(水)に、知事、教育長が高校におけるICT教育や小学校における英語教育等の状況について視察しました。

魚津高校では、2年生の物理の授業を参観。各班で実験を行い、そのデータ処理にタブレットを、実験結果の共有や発表にプロジェクタを使用するなど、ICT機器を効果的に導入・活用していました。考察の時間が十分に確保でき、次期学習指導要領が求める「深い学び」に繋がる素晴らしい授業でした。

住吉小学校では、6年生の外国語活動と5年生の理科の授業を参観。6年生の外国語活動では英語専科教員が、担任及びALTとティーム・ティーチングによる指導を行い、英語専科教員の英語の質問に、子供たちは、構文を意識しながら英語で元気よく答えるなど、英語の教科化への対応を踏まえた取り組みでした。

視察の最後に、6年生35名と給食を共にしました。「かわはぎ」や「魚津れんこん」、「加積リンゴ」など、地元の食材を生かしたメニューと子供たちとの会話を十分に満喫し、充実したひとときを過ごしました。



平成30年度 とやま高校生ものづくりマイスター認定式

第3回となる、とやま高校生ものづくりマイスター認定式が2月19日(火)に実施され、29名の生徒に認定証が授与されました。この制度は、県内の高校生(工業科)を対象に、「ものづくりコンテスト」「ロボット競技大会」などの全国大会等において特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒をマイスターとして認定することにより、生徒のやる気を喚起し、意識・意欲・専門性の向上を図り、ものづくり人材の育成に結び付けようとするものです。認定の後、代表生徒の富山工業高校3年森田航平さんが「マイスターの名に恥じぬよう、さらに高みを目指したい」と今後の意気込みを含めた謝辞を述べました。



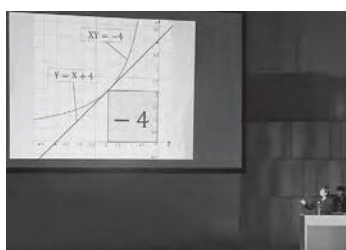
認定を受けた生徒の皆さん

探究科学科三校合同課題研究発表会

—ステージ発表とポスターセッションによる探究活動の発表と交流—

今年で8回目を迎える、富山、富山中部、高岡高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が、12月16日(日)に富山国際会議場で開催され、研究活動の成果を見学しようと他校生徒や中学生、保護者、県内外の教員など多くの方が来場されました。

3校の2年生56班によるポスターセッション形式の発表では、実物やタブレットなどを用いて、わかりやすく伝えることを意識した発表となりました。また、聞き手からの質問・疑問に対して、論理的に説明する力の必要性を感じていました。発表した生徒からは「日常的で身近なところから、自ら課題を発見することの大切さを感じた。」「何かに興味を持ち、納得するまで取り組む探究力が必要だ。」など、今後の探究活動に向けた決意が聞かれました。また、昨年に引き続き、3校の交流会が催され、生徒同士の親交も深まりました。



富山中部高校 ステージ発表
「反比例で判る！極値！」



高岡高校 ポスターセッション
「高校数学の知識で暗号をつくってみた」



富山高校 ポスターセッション
「若者言葉の日英比較 ～日本語の「やばい」は英語でなんて言うのだろう?～」

平成31年度富山県教育委員会重点施策の体系

1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

〔子どもの健全な育成と地域の教育力の充実〕

- 拡 とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業 (1,370)★
- ・土曜日の豊かな教育活動推進事業 (12,329)★
- 新 はつらつ公民館学び支援事業 (2,000)★
- ・放課後子ども教室推進事業 (28,592)
- ・中学校放課後学習支援推進事業 (6,076)
- ・高等学校等就学支援金等 (2,070,752)
- 拡 公立高等学校奨学のための給付金事業 (161,113)

〔家庭の教育力の向上〕

- 拡 とやま親学び推進事業 (3,501)★
- ・家庭教育かわら版事業 (1,500)★
- ・小学1年生安心子育て支援事業 (638)★

〔児童等の安全の確保〕

- ・学校安全教育推進事業 (513)
- 拡 県立学校防犯備品等整備事業 (2,300)

2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

〔確かな学力の育成〕

- 拡 とやま型学力向上総合支援事業 (22,776)★
- ・学びのアシスト推進事業 (1,245)
- ・新たな学び創造事業 (2,480)★
- 拡 ICT教育推進事業 (62,751)★
- 新 小中学校におけるICT教育総合支援事業 (1,000)★
- ・とやま科学オリンピックの開催(第9回) (8,124)★
- ・ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 (3,330)★
- ・スーパーサイエンスハイスクール (997)★

〔社会で生きる実践的な力の育成〕

- 拡 富山型キャリア教育充実事業 (8,974)★
- 新 小中学校キャリア教育充実事業 (500)★
- ・高校生とやま県議会事業 (880)
- ・とやまの中学生ライフプラン教育充実事業 (1,000)★
- ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (2,000)★
- ・高校生ものづくりマイスター育成事業 (2,349)★

〔グローバル社会で活躍できる人材の育成〕

- ・小学校英語教育モデル事業 (101,500)★
- 新 英語専科教員の配置 (101,500)★
- ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 (8,226)★
- 新 ICTを活用した英語教育推進事業 (5,000)
- ・とやまの高校生留学促進事業 (5,147)

〔教員の資質向上〕

- ・教師力向上支援事業 (4,000)★
- ・教師の学び支援塾事業 (1,500)★
- 新 幼児教育充実・強化事業 (2,000)★
- ・教職員人材確保事業 (1,528)
- ・採用前研修事業 (500)★
- ・とやま学校多忙化解消推進会議の開催 (363)
- 拡 スクール・サポート・スタッフ配置事業 (51,434)
- 拡 部活動指導員配置促進事業 (23,169)
- 新 高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 (38,737)

3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

〔豊かな心と健やかな体の育成〕

- ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (16,134)★
- 拡 スクールカウンセラー配置事業 (171,787)
- ・スクールカウンセラーの全小・中学校配置
- ・いじめ対策カウンセラーの派遣
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業 (19,279)
- ・いじめ総合対策事業 (24,054)
- ・いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣
- ・いじめ防止対策推進事業
- ・24時間いじめ相談電話の設置
- ・SNSを活用したいじめ相談モデル事業
- ・「朝から元気とやまつ子」食育・健康教育推進事業 (1,271)

〔少人数教育と校種間連携の推進〕

- ・少人数教育推進事業(小学校) (69,723)★
- ・小学校専科教員配置事業 (54,411)★
- ・学びサポート講師配置事業 (36,697)★
- ・中1学級支援事業 (5,506)★
- ・少人数教育推進事業(中学校) (27,168)★
- 新 教育課程研究指定校事業 (330)
- ・高大連携未来を拓く人材育成事業 (1,500)★

〔特別支援教育の充実〕

- ・とやまの特別支援教育強化充実事業 (14,603)★
- ・発達障害教育支援事業 (326)★
- ・特別支援学校教諭免許取得推進事業 (1,384)★
- ・特別支援学校司書配置事業 (1,778)

〔人権や思いやりの心を大切に教育の推進〕

- ・人権教育総合推進事業 (1,905)
- ・いのちの教育総合支援事業 (1,371)

4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

〔県立学校の教育環境の整備・充実〕

- ・県立学校整備等に関する検討 (2,000)
- ・魅力と活力ある学校づくり推進事業 (13,000)★
- 新 県立高校普通教室空調整備事業 (359,331)
- 拡 県立学校のトイレ洋式化(一部2月補正698,358)
- 拡 高等学校建設事業 (1,401,714)
- 拡 運動場等整備事業 (174,979)
- 拡 学校修繕費 (798,000)
- 拡 科学技術教育設備の充実 (331,467)

〔私立学校教育の振興〕

- ・私立学校経常費補助金(一般分) (2,316,367)
- 拡 私立高等学校特色教育振興事業 (181,374)
- ・私立高等学校生徒奨学補助金 (94,406)
- 拡 私立高等学校等奨学給付金 (66,504)
- ・私立小中学校修学支援実証事業 (1,900)

〔大学教育・学術研究の振興〕

- ・大学コンソーシアム富山事業費等補助金 (7,473)
- ・県立大学新棟等新築整備費 (3,337,339)
- 新 県立大学看護学部運営費 (850,004)
- ・とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業 (1,195)

ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成

— 真の人間力を育む教育の推進 —

5 生涯を通じた学びの推進

〔多様な学習活動の支援〕

- ・ 県民カレッジ本部・地区センターの運営 (57,199)
- ・ 富山県映像センターの運営 (4,092)
- 人生100年時代 生き方フォーラムの開催 (3,000)
- 人生100年時代 特別講座 (1,000)

〔県民の学習を支える基盤整備〕

- ・ 生涯学習情報ネットワーク事業 (6,307)

〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕

- 県立大学社会人向けセミナー開催事業 (4,700)
- リカレント教育等産学官連携プラットフォーム事業 (1,200)
- リカレント教育等産学官連携講座 (1,500)
- 私立専修学校等リカレント教育推進事業費補助金 (1,000)

6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

〔学校におけるふるさと学習の推進〕

- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (3,539) ★

〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕

- ・ 地域課題学び活かしチャレンジ講座 (1,000)
- ・ 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (834) ★
- ・ 「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施 (829) ★

〔高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興〕

- 文学を楽しもう！移動文学館事業 (1,800)
- ゆかりの作家ライブラリー事業 (2,000)
- 第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の募集 (1,000)
- 大伴家持海外発信事業 (1,000)
- ・ 高志の国文学館企画展開催事業 (39,226)

〔伝統文化の保存・継承〕

- ・ 国・県指定文化財保存修理事業への支援 (82,000)
- ・ 文化財の美化装等推進事業 (15,900)
- ・ 文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (700)
- ・ 富山の文化遺産魅力発信事業 (1,350)

7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕

- 2020年とやま世界こども演劇祭の開催準備支援 (4,500)

● 次世代育成音楽ふれあい事業 (21,000)

〔学校における文化活動の充実〕

- 全国中学校総合文化祭富山大会開催への支援 (3,000)
- ・ 学校巡回劇場開催への支援 (小・中) (770)
- ・ プロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施 (740)

〔富山県美術館をはじめとする文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕

- ・ 富山県美術館企画展の開催 (143,749)
- ・ 富山県美術館の教育普及活動 (18,411)
- 富山県美術館魅力発信事業 (6,984)
- ・ 県立文化施設機能強化推進事業 (200,000)

8 元気を創造するスポーツの振興

〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕

- 「富山マラソン2019」の開催 (97,720)
- ・ 富山県スポーツフェスタの開催 (11,265) ★
- ・ 東京オリンピック機運創出支援事業 (1,729)
- ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業 (2,800)
- ・ 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (5,000)
- ・ 学校体育施設の開放 (5,198)
- 東京2020オリンピック富山県聖火リレー開催事業 (20,000)
- ・ 健康・スポーツ環境充実検討事業 (1,000)

〔学校等における体育・スポーツの充実〕

- とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 (1,000) ★
- ・ スーパーとやま元気っ子育成 (みんなでチャレンジ3015) 事業 (1,789) ★
- ・ 武道指導者資質向上支援事業 (3,323)
- ・ スポーツエキスパート活用推進事業 (14,054) ★
- ・ 環日本海インターハイ親善交流大会への選手派遣 (3,654)

〔全国や世界の槍舞台で活躍できる選手の育成〕

- ・ 東京オリンピックを目指すジュニアアスリート育成サポート事業 (3,000)
- ・ 2020東京オリンピック選手育成強化事業 (2,151)
- ・ 未来のアスリート発掘事業 (6,000)
- ・ 元気とやまスポーツ道場開催事業 (20,000) ★
- ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 (3,000)
- ・ サッカー・野球・駅伝強化事業 (15,000) ★
- とやま・なんと国体2020開催事業 (205,000)
- 富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 (12,000) ★
- ・ 障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援 (3,000)

〔スポーツを支える人材の養成と活用〕

- ・ 「元気とやまスポーツ大賞」等の贈呈 (664)

9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

〔地域を支える人材の育成〕

- ・ 土曜日の豊かな教育活動推進事業 (再掲)
- ・ とやまの中学生ライフプラン教育充実事業 (再掲)
- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (再掲)
- 富山型キャリア教育充実事業 (再掲)
- 小中学校キャリア教育充実事業 (再掲)

□ : 総合政策局所管事業

□ : 生活環境文化部所管事業

□ : 厚生部所管事業



「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式

県農業教育振興会主催、第17回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が2月15日(金)、富山県農協会館で行われ11名の受賞者が表彰されました。中学校、高校あわせて184編の応募があり、富山県知事賞には氷見市立西部中学校の北河詩さんの「もっと農業を広めるには」が、富山県教育委員会教育長賞には中央農業高校の安川帆那実さんの「日々草～園芸福祉で輝くQOL～」、砺波市立出町中学校の田屋向日葵さんの「母と私の家庭菜園」が選ばれました。当日は受賞者を代表して北河さんが、農業の魅力を伝えること、農業の問題点にしっかりと向き合っていくこと、地域同士や近所での協力の三つが重要だと発表しました。



教師力向上支援事業 — 報告会 —

教師力向上支援事業の報告会が2月7日(木)に教育長をはじめ、検討委員の皆様のご出席のもと開催されました。この事業は、教員の自発的な研修を支援することにより、幅広い視野、識見ある教員の育成を図ることを目的に、平成19年度から実施しています。平成30年度は、各校種の教員15名を国内外に派遣しました。

派遣者から「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実践」や「海外(アメリカ合衆国(西海岸))教育事情視察」等の研修の成果や研修後の実践について報告がありました。



研修者の報告の様子

第36回富山県高等学校生徒海外派遣団結団壮行式

1月29日(火)、「台湾・ベトナムと富山県の経済・文化交流・観光振興一元気とやま新時代を担うグローバル人材の育成」をテーマとして実施する第36回富山県高等学校生徒海外派遣の結団壮行式が総合教育センターで行われました。式では、竹島 教弥さん(新湊高2年)に団旗が手渡され、森田 怜さん(富山高等専門学校2年)が団員を代表して「富山の良さを発信し、多様なものの見方を学んでいきます」と意気込みを語りました。団員20名と団役員等4名は、3月3日(日)～14日(木)までの12日間、富山きととき空港から台北便を利用して、台湾、ベトナムを訪問し、現地高校生・大学生との交流、ホームステイ体験、現地進出の本県企業訪問や富山県人会との交流、史跡、文化遺産見学等の研修を行います。



団員代表謝辞

特別展 「旧石器時代とはどのような時代だったのか！」

富山県埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターでは、「旧石器時代とはどのような時代だったのか!」(会期:10月5日～3月21日)を開催しました。

当センターの所蔵品を中心に約300点の石器を、技法や年代から大きく6つのグループに分け、遺跡ごとに展示しました。また、「ある日の旧石器人」として衣・食・住をジオラマ復元して、当時の自然の様子やくらしぶりを再現し、好評を博しました。



健康教育実践優良学校の取組

平成30年度健康教育実践優良学校の総合・近視予防・歯と口の健康の3部門に11校が選ばれました。

	総合の部門	近視予防の部門	歯と口の健康の部門
優良校	富山市立鶺坂小学校	魚津市立上中島小学校	砺波市立出町小学校
準優良校	砺波市立鷹栖小学校	砺波市立庄東小学校	入善町立黒東小学校
努力校	魚津市立清流小学校 富山市立浜黒崎小学校 氷見市立朝日丘小学校	入善町立桃李小学校	入善町立ひばり野小学校

ここでは、優良校の取組を紹介します。

「総合の部門」(いきいき富山っ子賞) 優良校「富山市立鶺坂小学校」

心身の健康に関心をもち、健康で明るい生活を送ることができる子供の育成を目指し、正しい姿勢を意識させる活動に学校全体で取り組んでいます。授業の始まりと終わりに、全学級で統一した合い言葉で姿勢を確認したり、児童保健委員会が、ノートと目の距離を保つ「姿勢ものさし」を作成したり、活動を工夫しています。



◀背すじピーン!

「近視予防の部門」優良校「魚津市立上中島小学校」

目の健康に関心をもち、視力の低下を予防する態度の育成を目指し、養護教諭が定期的に各教室を巡回・指導することで、正しい姿勢について意識化を図っています。学校保健委員会では、睡眠不足が視力に及ぼす影響について取り上げたことにより、睡眠を十分にとり、目の健康を守ろうとする意識が高まっています。



◀児童保健委員会の発表

「歯と口の健康の部門」優良校「砺波市立出町小学校」

子供の発達の段階に応じた歯と歯肉に関する指導として、「むし歯予防教室」や「歯肉炎予防教室」等により、自分の歯並びに合った歯のみがき方を知り、むし歯や歯周疾患の予防に努めています。学校保健委員会では、児童が手作りの歯の模型や大型歯ブラシを使って発表するなど、児童が主体的に取り組むよう工夫しています。



◀学校保健委員会の発表

学校給食優良学校等の取組

平成30年度学校給食優良学校等に、以下の団体・個人が選ばれました。

- ・学校給食優良学校 富山市立鶺坂小学校
- ・学校給食功労団体 ピヨピヨグループ (入善町)
- ・学校給食功労者 横井 らい子 (富山市立樫尾小学校 調理員)
- 柄崎 美雪 (南砺市立福光中部小学校 調理員)



ここでは、優良学校、功労団体の取組を紹介します。

学校給食優良学校「富山市立鶺坂小学校」

児童が主体的に「食」への関心を高めるよう、教職員が一丸となって取り組んでいます。給食委員会主催の給食たべキリン運動や給食オリエンテーリング等に全校児童が主体的に参加し、食に親しんでいます。また、家庭での朝食調べの結果をもとに食に関する指導を行い食生活を改善するなど、学校と家庭が連携しています。



◀朝ごはんの呼びかけ

学校給食功労団体「ピヨピヨグループ」

入善産米を使った米粉パンを入善町の全小・中学校の給食に提供し、児童生徒が地場産食材のおいしさを知るきっかけのひとつになっています。小学校と連携して「パン作り教室」を実施し、食育指導にも寄与しています。さらにパンのサイズや味付け等、商品の改良を重ね、安全・安心でおいしい米粉パンを提供しています。



◀米粉パン教室の様子

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

「体力・運動能力と『運動やスポーツをすることが好きか』『体育の授業が楽しいか』の肯定的な回答には関わりがある」というスポーツ庁の調査結果が出ています。本年度スポーツ庁から出された調査結果を活用し、引き続き児童生徒の体力・運動能力の向上に向けた積極的な取組をお願いします。

1 体力・運動能力、運動習慣等調査結果の富山県概要

体力合計点は、小学校男女と中学校女子で過去最高得点を獲得し、中学校男子を含めたすべてで全国平均を2年連続で上回りました。各校での継続的な運動習慣定着への取組や幼児期からの運動指導の効果が現れていると考えています。

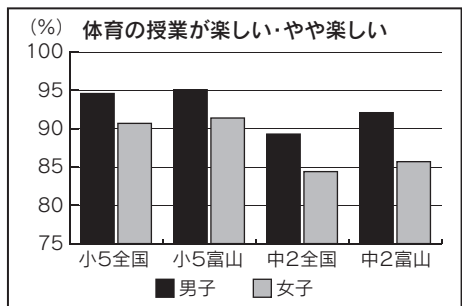
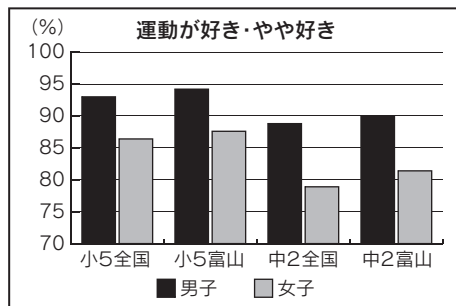
〈小5・中2の調査結果：悉皆調査〉 (網かけ : 本県平均値が全国平均値以上の種目)

種目等	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力 (kg)	16.76	16.54	16.34	16.15	29.21	28.84	23.67	23.87
上体起こし (回)	20.00	19.95	18.99	18.96	26.76	27.36	23.20	23.87
長座体前屈 (cm)	33.85	33.31	37.86	37.62	43.96	43.44	46.83	46.22
反復横とび (点)	44.31	42.10	42.95	40.32	52.74	52.24	47.72	47.37
持久走 (秒)					395.96	392.65	287.65	286.85
20mシャトルラン (回)	56.60	52.15	46.56	41.88	88.05	86.06	62.17	59.87
50m走 (秒)	9.46	9.37	9.61	9.60	8.05	7.99	8.81	8.78
立ち幅とび (cm)	156.17	152.24	151.01	145.94	199.53	195.62	175.76	170.26
ボール投げ ※1 (m)	23.10	22.15	14.59	13.77	21.04	20.55	13.27	12.98
体力合計点 ※2	55.51	54.21	57.72	55.90	42.85	42.32	51.45	50.61

※1 小学校はソフトボール投げ、中学校はハンドボール投げ

※2 体力合計点は、個々の各種目の記録をそれぞれ1点から10点に得点化し、合計した点数の平均値

児童生徒への質問で「運動やスポーツをすることが好きか」「体育の授業が楽しいか」の肯定的な回答は、小学校と中学校ともに全国平均を上回りました。各校で体育的行事や体力向上に向けた活動及び体育の授業の充実が図られていると考えています。



2 体力向上に向けた取組について

体力・運動能力を向上させるためには、調査結果をしっかりと分析し、児童生徒の現状にあった指導計画の改善に取り組むことが大切です。調査報告書や「学校用確認シート」等を活用して、次年度の活動に生かしていただきますようお願いいたします。(いずれもスポーツ庁のHPからダウンロードできます。)



「富山マラソン2019」について

問合せ先 富山マラソン実行委員会事務局 TEL 076-444-4102

開催日：2019年10月27日(日) 皆さまのエントリーをお待ちしております

※詳細は、公式HPをご覧ください。 [富山マラソン](#) 《先着順です!!》

種目	マラソン (42.195km)	車いす(9km)	ジョギングの部(約4km)
定員	13,000人	30人	1,000人
エントリー開始日	・4月6日(土)～(県民先行枠、富山マラソン応援枠、出走権付宿泊枠) ・4月20日(土)～(一般枠ほか)		4月20日(土)～



公民館親子で高志の国探検事業

～ ふるさとに学ぶ！ ふるさとで活動！ ～

将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、県では平成20年度から、公民館を拠点として、親や家族そして地域の人々と交流しながら取り組むふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進しています。今年度は、14市町村、124公民館で、約10,000人が参加しました。事業では、「新布施谷節踊り披露」「増山城趾草刈りボランティア」など、様々な体験活動や学習が実施されました。「一生懸命練習した踊りを見てもらってうれしかった。」「増山城の歴史を知ることができたし、遊歩道もきれいになった。」など、身近な地域でのふるさとの学びや自然体験は、子供たちのふるさとへの愛着を育む活動になっています。



【新布施谷節踊り披露】
魚津市西布施公民館



【増山城趾草刈りボランティア】
砺波市立梅檀野公民館

平成30年度 高校生とやま県議会

12月14日（金）、県内の高校2年生40名の高校生議員が、「元気とやまを創造するために、高校生が考える○○○」をテーマとし、「富山のポテンシャルを活かした企業誘致」「子育て支援策の活用で、子育てを楽しめる富山」「スポーツを通して心身ともにレベルアップ」「差あ！ゼロ プロジェクト～健康寿命の延伸～」「ストレスフリーな公共交通」の5つの切り口で、富山の未来をよりよくするための意見を発表しました。

高校生議員は、8月に認定証を授与された後、5つの委員会に分かれ、3回の委員会活動で県政への要望や高校生が実践できることを話し合いました。

また、県政に関心を持ち、政治への参加意識を高めていくために、県議会の傍聴や知事、県議会議員との意見交換も行いました。

※活動の様子は、生涯学習・文化財室のHPでも紹介しています。



委員会活動の様子



知事との意見交換



本会議の様子

インフォメーション

開催場所 内容 対象 募集人数 応募要領
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

塾生(受講者)募集 富山県民生涯学習カレッジ 問い合わせ 076-441-8401

平成31年度 県民カレッジ自遊塾 塾生募集案内(締め切り間近)

【期日】平成31年3月1日(金)～平成31年4月12日(金)

富山県カレッジホームページ、県内の公共機関などに塾生募集案内を掲載・配布。

受申請申込書に必要事項を記入の上、申込者1名につき切手82円分を添えてお申込みください。

【期日】平成31年4月12日(金)の消印有効。



【越中国の埋もれた歴史】の講座

利用案内

公益財団法人富山県ひとづくり財団 問い合わせ076-444-2000

富山県教育活動応援者ネット～T-EACHネット～

富山県でボランティア活動を希望する退職教員等が登録されたサイトです。学校現場が必要とする人材を簡単に検索できますので、是非ご活用ください。(県教委委託事業)

https://www.toyama-teach.jp/



T-EACHネットホームページ

入館無料

富山県埋蔵文化財センター 問い合わせ076-434-2814

企画展「古代へのとびら2019」

【期日】4月16日(火)～9月19日(木)

富山県内各地の遺跡から、貴重な出土品を時代順に紹介し、子供から大人まで楽しく観覧しながら、考古学を基礎から学べます。展示を見ながら、楽しく歴史を学びましょう。社会科の学習にもご活用ください。【金曜日



展示を利用した学習

総合教育センター NOW

平成30年度 調査研究事業の報告 ◇◇詳しくは各学校に配付する研究紀要をご覧ください。◇◇

教育研修部 「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る指導に関する調査研究 －探究的な言語活動の視点から－

本調査研究では、「対話による深い学び」を「対話を通して根拠や理由を明確にして論理的に考える力を育成すること」と捉えています。ペアやグループ等少人数での対話に焦点を当て、「学習課題」「対話の環境」「評価」の3つの視点で授業改善に取り組み、個の学びの深まりを目指しました。今年度の取組を通して「知識の関連付けや意味付けにつながる対話の場の設定」「対話スキルの育成に有効な評価カード」等の手立てが、有効であることが分かりました。

科学情報部 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習の在り方に関する調査研究 －観察・実験における課題解決型学習を活用した理科指導の充実－

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善において、通常行われている教育活動の質を向上させるよう求めています。そこで、小学校理科の観察・実験において、問題解決の過程を重視することで、児童の学習活動の質が充実すると考え、「課題解決型学習を効果的に実施するための要件」を作成しました。その「要件」を取り入れた授業実践の分析から、学習の成果について報告しました。

教育相談部 児童生徒へのチームによる支援の在り方に関する調査研究(2年次) －日常的・継続的な支援につながるエピソードプロセスの開発－

児童生徒の行動や心情を捉え、協働的・機能的なチームによる支援を促進させるケース会議の仕組みとして「エピソードプロセス」を開発しました。手順に沿って作成された「チーム支援シート」を使って、30分間で児童生徒の困難の状況を捉え、支援の方針や援助策を決め、当事者意識の高い役割分担を促す効果が確かめられました。「エピソードプロセス」は、本センターが実施する学校支援訪問研修等での活用と学校現場への提供を予定しています。

教育研修部 「指標」を踏まえて、研修を実施しています。

昨年度末に策定された「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」には、キャリアステージに応じた、教員として身に付けるべき資質能力について規定されています。

今年度、教育研修部では、初任者研修を「基礎期」、6年次教職員研修を「向上期」、中堅教諭等資質向上研修を「充実・発展期」のスタートと位置付け、各研修では「指標」で求められている姿を受講者に意識してもらえるよう取り組んできました。

例えば、中堅教諭等資質向上研修では

・ 県総合教育センターにおける研修の開始時(10年次)に「指標」に基づき作成した自己評価表による自己評価を行う。また、研修終了時(11年次)に改めて自己評価アンケートを行い、自らの2年間の成長の度合いを振り返る。

・ 県総合教育センターにおける各研修の終了時に実施した事後アンケートに、当該研修に関わる「指標」の項目を取り上げ、受講した成果を振り返る。

例えば

－ 年次交流研修く事後アンケートより －

教諭の資質向上のための指標(学習指導・生徒指導に関すること)
若手教員の指導上の課題に関して、「自らの実践や研修会で得た情報等を基に、提案したり助言したりする」ことができたか。
4 できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった

また、6年次教職員研修では

・ 県総合教育センターにおける6年次の研修開始時や終了時に、自己評価アンケートを行ったり、各研修の終了時に「指標」を盛り込んだ事後アンケートを実施したりして、研修を受講した成果を振り返る。

「指標」は、教員のキャリアステージに応じた資質の向上を図る際の目安であり、「指標」を意識しながら研修に取り組むことで、生涯にわたって学び続ける教員が育つことを目指しています。

来年度も教育研修部では、自己評価や事後アンケート結果等を基に研修内容の一層の改善に取り組み、自らの資質の向上を目指して主体的に研修に取り組む教員の育成に努めていきたいと考えています。

科学情報部

小学校教員を対象とした「プログラミング研修会」のご案内

新しい学習指導要領では、プログラミング教育が導入されます。これにあたって総合教育センターでは、2019年度より、小学校の先生方を対象に「プログラミング研修会 プログラミング教育準備コース」を開講します。研修は下記の内容 ①、②、③ を半日で行います。

①小学校プログラミング教育の概要

平成30年11月に文部科学省から公表された「小学校プログラミング教育の手引（第二版）」を基に、プログラミング教育のねらい、プログラミングに関する学習活動の分類と実施する具体的な内容を理解します。

②プログラミング演習Ⅰ

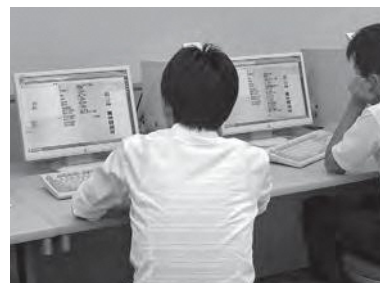
アンブラグドプログラミング（コンピュータを使わないプログラミング）の具体例を理解します。その後、アンブラグドプログラミングの教材をペアで考え、グループ内で発表し、プログラミング教育のねらいに適した教材になるよう協議します。



プログラミング教育研修会の様子
(平成30年8月・入善町教育センター)

③プログラミング演習Ⅱ

ビジュアル型プログラミング（ブロックを組み上げるように命令を組み合わせプログラミングする言語）を体験します。具体的にはスクラッチを活用し、学習指導要領に記載されている小学校5年生の算数、小学校6年生の理科の課題に取り組みます。



2019年度は8月2日（金）午前および午後の計2回行います。
ぜひご参加ください。

教育相談部

「エピソードプロセス」を学校支援訪問研修で提供します。

— どの学校でも使いやすい、チームによる支援を促進させるケース会議 —

教育相談や生徒指導、特別支援教育に関する指導力の向上を支援するため、要望に応じて学校や市町教育センター等を訪問して研修を行う学校支援訪問研修を実施しています。この度、新たに「エピソードプロセス(ep)」の考え方の理解及びケース会議の体験を内容とする研修を加えました。

「エピソードプロセス(ep)」によって、気になるエピソードを基に、児童生徒の行動の背景や要因、心情を捉えて困難の状況を見立て、「できていることやもっているもの」を生かした具体的な手立てについて、チーム支援シートを使うことで、約30分間で検討することができます。



◀ Episode Process
「イーピー」と呼んでください

研修プログラムの展開と構成

展 開	内 容	チーム支援シート
epの考え方および支援シートの活用方法を知る	・ 児童生徒理解と対応に有効なケース会議	研修資料
	・ ケース会議の難しさ	・ プレゼンシート
	・ 取組の評価を伴った見立てと手立ての重要性	・ 配付資料
	・ 行動の背景要因、心情の想像と理解	ep紹介ビデオ (epV)
	・ 援助資源「できていることやもっているもの」の理解と活用	
事例を用いてケース会議を体験する (ABCは選択)	A 心情の想像の体験	演習用エピソード・シート
	B 架空ケース (小中高) を用いたロールプレイ	架空事例の資料
	C 実際の事例を用いたケース会議	エピソード・シート ケース会議進行表 ボードシート
ま と め	・ 学校ごとの特色あるくかたち	
	・ 質問	
発展的な内容	・ 関係性の把握	つながりマップ
	・ チームによる支援体制の現況把握	チームによる支援チェックシート

内容によって
40～60分間

オプション
30分間

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

人権教育の推進

— 温かい人間関係を築こうとする生徒の育成 —

上市町立上市中学校

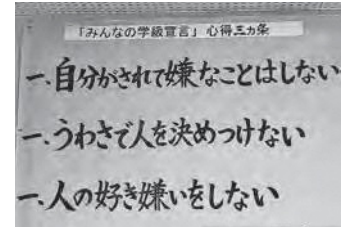
上市町立上市中学校は、平成27年度より人権教育に力を入れ始め、今年度で4年目になります。体験活動や生徒会を中心としたボランティア活動の推進、道徳教育の充実、共に学び合う授業や学級集団づくりなど、教育活動全般にわたり人権教育を結びつけることで、人権を尊重する豊かな心を育てています。

年度始めには、学級をよりよくしていくための人権を意識した約束事として「学級目標」をつくります。例えば『「人を大切にすること」を常に意識すること』などで、一人一人が安心して過ごせる学級を目指します。そして、その目標の達成状況を振り返り、新たに「学級宣言」をつくります。生徒たちはこの宣言についても定期的に達成状況を振り返り、自己評価することで意識を高めています。また、部活動内においても人権意識を高めるためミーティングを行い、取組みと達成状況を振り返っているそうです。

1948年12月10日の第3回国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことにより、この時期に「全校人権集会」を実施しています。今年度は、各学年や生徒会の人権に関わる取組みの発表だけでなく、先生方が実施した東北地方太平洋沖地震現地視察についての発表も行われました。昨年度の「生き方を考える教育講演会」で講師を務められた陸前高田市の「金 賢治」教育長に再会したエピソードを紹介し、改めて命の大切さや日常生活の尊さについて伝えられたそうです。生徒だけでなく先生方も含めて学校全体で人権教育に取り組んでいる様子が分かりました。



宮城県石巻市立大川小学校の跡地



2年4組の「学級宣言」

当初は、人権の尊重と言われても実感できなかった生徒達ですが、人権意識が着実に高まってきており、相手の立場に立って自分の言動を見直せるようになったため、学年が進むごとによりよい人間関係を確立できるようになったそうです。

昨年度、生徒達が話し合いを重ね、上市中学のネットルールを作ったそうです。その中の一つに「既読無視より 人権無視がゆるせない!」とありました。そのことから生徒達に人権教育がよく浸透していると実感できる訪問となりました。

リレーエッセイ

「人材」を活かして「人財」に

富山県中学校体育連盟会長 富山市立堀川中学校長 齊藤 保志

武田信玄は「人は石垣、人は城」といいました。一人一人違った個性が心一つにして石垣、城となれば、難攻不落の基地ができあがるとの信念です。

さて、石垣を造るのに、1個1個形状の違う石を組み合わせるのは、技術的に難しく、手間や時間がかかります。しかし、いったん巧みに組んでしまえば、なかなか崩れません。それに比べ、ブロックを積み上げる方法は、形状と質を規格化したブロックを扱うため、技術的には容易で、スピーディーに建造ができます。しかし、石垣ほどの頑強さは出ません。

学校の組織もまた、実に多様な個性がある教職員の集団です。一人一人の教職員を、1個1個形の違う石（石に例えて申し訳ないですが…）として活かし、学校という組織を組み立てていくのは、とても手間がかかり、忍耐と根気の要る作業となります。しかし、そうして成就させた学校はとても強い組織になるのではないかと思います。

一方、教職員を組織の枠にはめ込み、均質化したブロックにすることで、効率よく学校の教育目標を実現させようとする考え方もあります。しかし、教職員の関係性は粘りのあるものでなくなり、失うものも多くなってしまいます。

もちろんこの2つの考え方は両極であって、実際の学校はこの間のどこかで、教職員をある時は「石」、ある時は「ブロック」と捉えながら運営していくことになります。学校にとって重要なことは、一人一人の教職員を個性ある「石」として活かすことです。

「教育は人なり」といわれるように、「人材」を活かして「人財」にしていく。まさに、教職員は「財」です。とても大事な視点だと思っています。



■執筆者プロフィール

富山市出身 藤ノ木中学校長、富山市教育委員会学校教育課長、教育次長を経て平成30年4月より現職

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp